

2021 年度

シルクロード学 研究会

2022 年 1 月 22 日 (土) 13:15～
23 日 (日) 9:00～

会場・オンライン (Zoom) 同時開催

主催 帝京大学文化財研究所

キルギスのアク・ベシムの調査を中心に、中央アジア出土のコインを通して東西の交流を探るほか、本年度スタートした医科学との学際研究を報告いたします。ご参加をお待ちいたします。

会場： 帝京大学文化財研究所 大ホール

定員： 会場への来場者は 70 名、オンライン参加は 150 名まで。

申込み方法： 会場・オンラインともに以下のフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/rxVnRJvxdVpud74k7>

※右の QR コードからでも申込みできます。

申込み締め切り： 2022 年 1 月 7 日 (金)



アク・ベシム遺跡出土の開元通宝

1 月 22 日 (土) 13:15～17:20 (開場 12:00)

13:15～13:30 開会あいさつ・趣旨説明

I. コインが語るシルクロード

- | | | |
|-------------|-----------------------------|----------------------------|
| 13:30～14:30 | 「古代から中世のシルクロードの貨幣について (概観)」 | 平野伸二 (関西医科大学) |
| 14:30～15:00 | 「ソグドのコイン」 | 吉田豊 (文化財研究所) |
| 15:00～15:30 | 「アク・ベシム遺跡出土のコイン」 | 藤澤明 (文化財研究所)・竹井良 (帝京大学大学院) |
| 15:30～15:50 | 休憩 | |
| 15:50～16:20 | 「アフガニスタン周辺のコイン」 | 宮本亮一 (東京大学) |
| 16:20～16:50 | 「サーサーン式コインにみられる後刻印」 | 津村真輝子 (古代オリエント博物館) |
| 16:50～17:20 | 「中央アジア出土の中国式コイン」 | 柿沼陽平 (早稲田大学) |
| 18:30～21:00 | 懇親会 (予定) | |

※会場のみで開催 (会費制)。新型コロナウイルスの感染状況に応じて、中止の可能性があります。

1 月 23 日 (日) 9:00～12:00

II. 碎葉 (スイヤブ) への道

- | | | |
|-------------|---------------|----------------------------|
| 9:00～9:30 | 「玄奘の道」 | 山内和也 (文化財研究所)・佐藤剛 (帝京平成大学) |
| 9:30～10:00 | 「タラス河畔の戦いと碎葉」 | 齊藤茂雄 (文化財研究所) |
| 10:00～10:30 | 「中国都城の瓦と散水」 | 向井佑介 (京都大学) |
| 10:30～10:50 | 休憩 | |

III. 考古医科学からのアプローチ

- | | | |
|-------------|-----------------------|--------------|
| 10:50～11:20 | 「考古医科学的アプローチとその可能性」 | 槇村浩一 (帝京大学) |
| 11:20～11:50 | 「考古有機物としての DNA と寄生虫卵」 | 上田たかね (帝京大学) |
| 11:50～12:00 | 閉会あいさつ | |